

2017 年 11 月 22 日

第 2 4 期政治学委員会
行政学・地方自治分科会第 1 回会議議事録

作成：大山耕輔

記

1. 日 時 平成 29 年 11 月 17 日（金）正午～13 時
2. 場 所 日本学術会議 6 階 6－C（1）会議室
3. 出席者（敬称略）5 名
後房雄、金井利之、城山英明、外山公美、大山耕輔
4. 議 題

- ① 2 4 期分科会役員の選出
- ② 2 4 期分科会の活動方針について
- ③ その他

5. 議事要旨

まず、2 3 期の大山耕輔委員長から 2 3 期の活動について報告があった。東京大都市圏、日本型シティ・マネジャー制度、地方創生の 3 つのテーマについて、毎年秋ないし春に公開シンポジウムを開催してきた旨の報告があった（毎回 1 0 0～1 5 0 名の出席者）。また、行政学会の分科会として共同開催した時もあると報告。

それを受けて、2 4 期の役員人事や活動方針について話し合われた。

① 2 4 期分科会の役員は以下の通り。

委員長 城山 英明（事務局とのやり取り、全体の統括等）

副委員長 金井 利之（提言等の起草・取りまとめ、公開シンポの企画・運営等）

幹 事 後 房雄（分科会の議事録作成、提言等作成過程の記録等）

同 辻 琢也（同）

世話人 大山 耕輔（助言、支援等）

- ② 2 4 期分科会の活動方針として、毎年 1 回程度公開シンポジウムを開催することを第 1 の目標とし、シンポの内容を「記録」し公開することを第 2 の目標とする。具体的には、来年 5 月 2 6 日（土）開催予定の日本行政学会共通論題「政策論議の健全性と審議会・独立機関の役割」（仮題、於東京大学）を、学術会議と共同主催し登壇者（会員・連携会員 2 名必要）について、後日メール審議で詰めることになった。また、このシンポの「記録」を作成することを確認した。
- ③ 次回の分科会は、来年 5 月 2 6 日（土）共通論題終了後の予定。具体的な時刻・場所を含めそれまではメール審議。なお、比較政治分科会の定員が 1 0 名を超えてもよいことに政治学委員会で決定されたことに伴い、ご関係の先生には世話人の大山から改めて意思の確認を行うことになった。また、分科会参加の問い合わせのあった関西学院大学社会学部の大谷信介氏にも、大山から今期の活動方針等を伝えることになった。以上